



# 端部カバーB



## LIXIL ライシスフェンス1型・7型、プレスタフェンス1型 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号

-  **ポイント**
  - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
  - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
  - 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
  - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>

### 警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。

### ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

## <施工上のご注意>

### 注意

- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 柱間隔1m以内で施工の指示があるものは、必ず指示にしたがってください。強度低下の原因となります。
- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因となります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。  
・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
φ4ネジ：1.6N・m±0.3N・m(16±3kgf・cm)
- 組付け後、鋭利な切断面やバリが露出していないことを確認してください。露出したままではケガをするおそれがありますので、必ず修正してください。

## ■梱包明細表

【1】ライシス1型

名称	略図	員数
縦枠（端部1） クッション材付き		1
縦枠（端部2） クッション材付き		1
縦枠蓋		2
【1-1】φ4×15 ナベタッピンネジ2種(G=5)		4
取付説明書<C442>	—	1

【3】ライシス7型

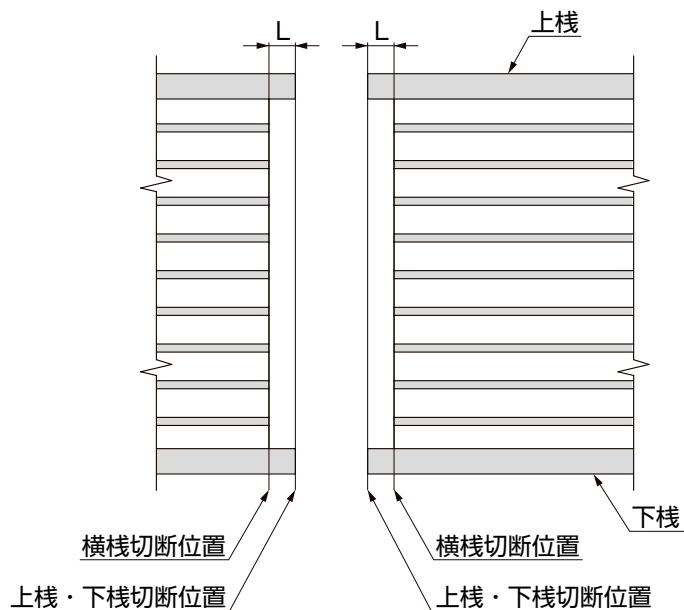
名称	略図	員数
縦棧（右）		1
縦棧（左）		1
縦棧蓋		2
【3-1】φ4×15 ナベタッピンネジ2種(G=5)		4
取付説明書<C442>	—	1

【2】プレスタ1型

名称	略図	員数
縦枠（端部1）		1
縦枠（端部2）		1
縦枠蓋 ※		2
クッション		2
【2-1】φ4×6 ナベタッピンネジ3種		4
取付説明書<C442>	—	1

※クッション材を同梱しています。  
取付時に必要ですので捨てないでください。

## 1. 本体の切断



- ①本体を分割位置で切断してください。
- ②横棧を横棧切断位置で切断してください。

タイプ	L(mm)
ライシス1型	3.5
ライシス7型	10
プレスタ1型	3.5

## 2. 本体の孔加工

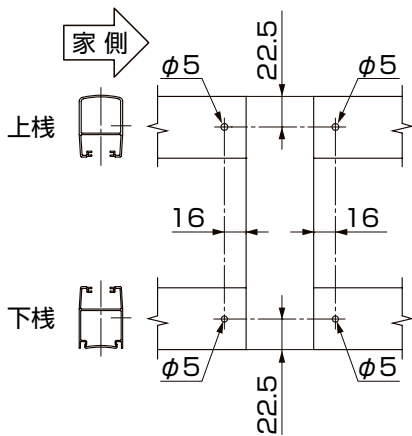


図2-1 ライス1型・7型

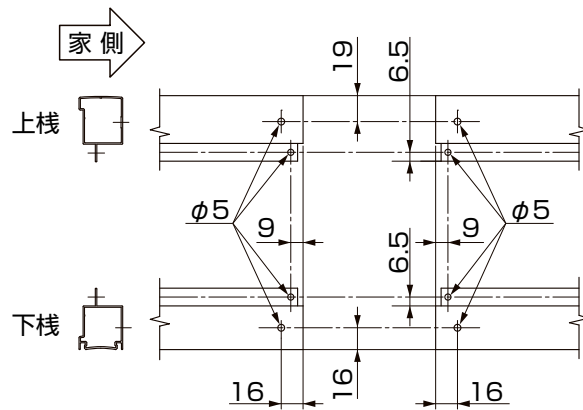


図2-2 プレスタ1型

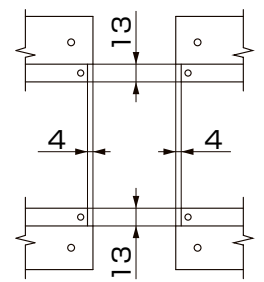


図2-3  
プレスタ1型 切り欠き

①上図を参照して、上・下棧に $\phi 5$ の孔加工(図2-1、図2-2)と、プレスタ1型は4×13切り欠き(図2-3)を行なってください。

### ポイント

● $\phi 5$ の孔加工は裏面(家側)のみです。

## 3. 本体の組付け

※分割した本体のもう一方も、同様に組付けてください。

### 3-1 ライス1型の場合

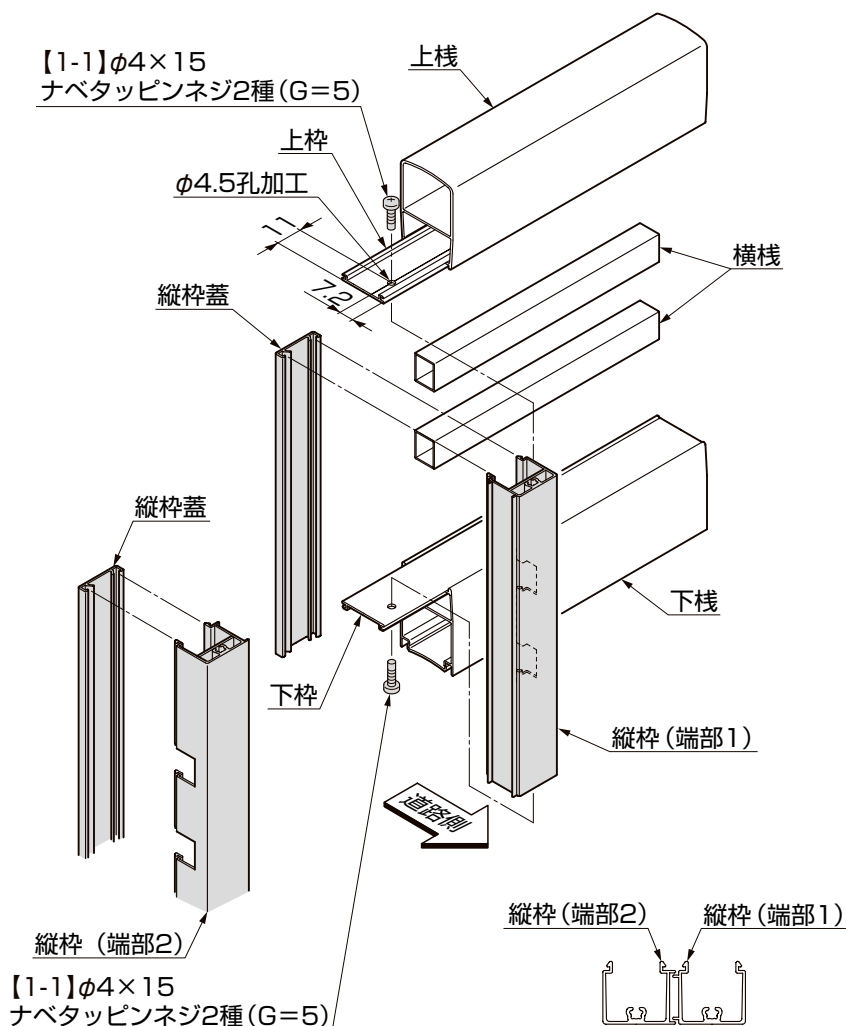


図3-1 縦柵の取付け

### ポイント

●道路側から見て左側に縦柵(端部1)、右側に縦柵(端部2)を使用してください。

①上・下棧を左右にスライドし、上・下柵に左図を参照して $\phi 4.5$ の孔をあけてください。

②縦柵を差込み、【1-1】で取付けてください。

### ポイント

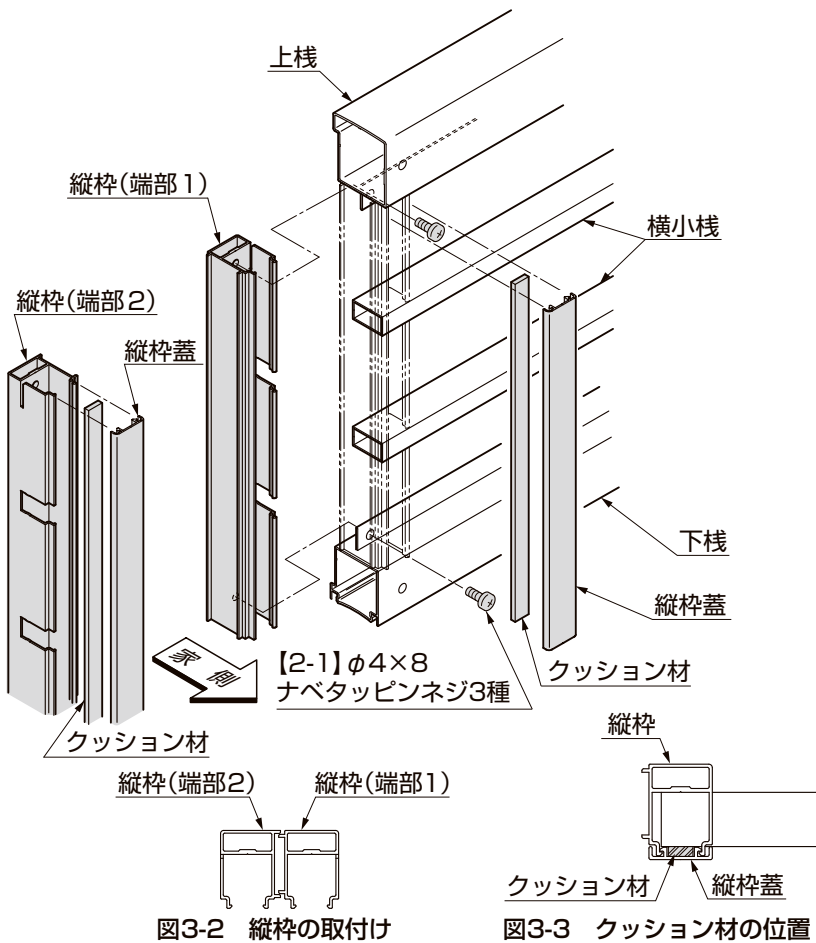
●縦柵は、図3-1のようになるように取付けてください。

③縦柵蓋でふたをしてください。

④スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

### 3. 本体の組付け つづき

#### 3-2 プレスタ1型の場合



#### ポイント

- 家側から見て左側に縦棧(端部1)、右側に縦棧(端部2)を使用してください。

- ①縦棧を差込み、【2-1】で取付けてください。

#### ポイント

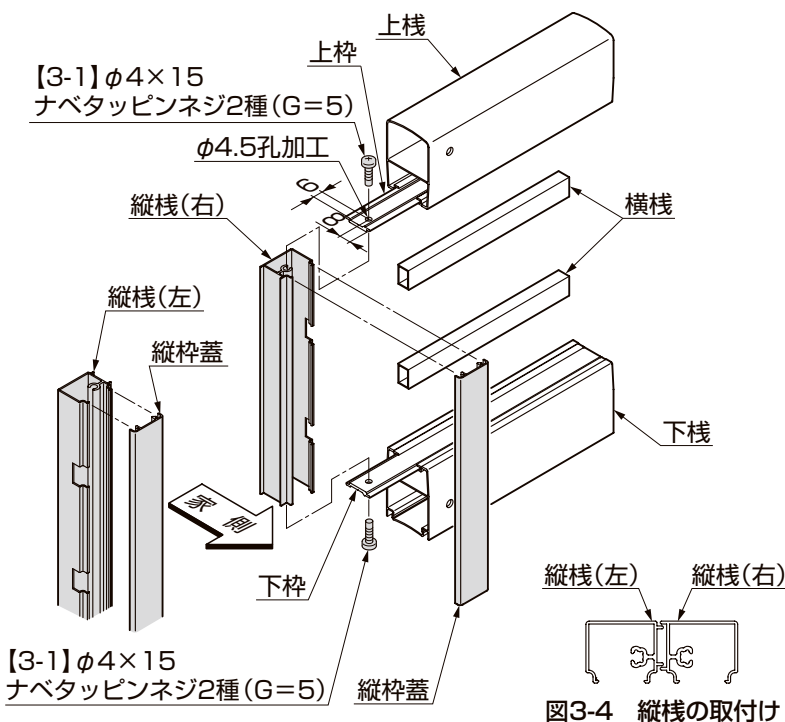
- 縦棧は、図3-2のようになるように取付けてください。

- ②縦棧蓋でふたをしてください。

#### 補足

- クッション材は図3-3の位置に入るように縦棧蓋側に貼って、ふたをしてください。

#### 3-3 ライス7型の場合



#### ポイント

- 家側から見て左側に縦棧(右)、右側に縦棧(左)を使用してください。

- ①上・下棧を左右にスライドし、上・下枠に左図を参照してφ4.5の孔をあけてください。

- ②縦棧を差込み、【3-1】で取付けてください。

#### ポイント

- 縦棧は、図3-4のようになるように取付けてください。

- ③縦棧蓋でふたをしてください。

- ④スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

取説コード

**C442**

JZZ626591A  
201401A\_1047  
201607B\_1047